

## 東日本大震災プロジェクト活動報告

東日本大震災プロジェクト担当理事 吉田俊子

3月11日の東日本大震災発生から1年がたちましたが、被災地では長期化する健康問題、経済・産業喪失等の様々な困難な状況にあり、継続的な看護支援が非常に重要となっております。そのような中「東日本大震災プロジェクト」が、皆様からいただいたご寄付を基にスタートし、復興に向けた看護活動に取り組んでおります。プロジェクトメンバーは、山本あい子副理事長、酒井明子理事、黒田裕子理事のほか、東北地方の会員6名です。学会での活動の他、NPO団体や大学との共催による活動、セミナー等の開催も企画しています。

平成24年4月現在の活動の概要については以下の通りです。

### ①仮設住宅で暮らす高齢者の健康支援・交流支援（南三陸町）

平成23年8月より定期的に南三陸町でNPO活動と共催により、指あみ、民謡などの交流支援と健康相談を開催しています。生活不活発病予防の視点で活動を継続しながら個々の健康課題に対応した支援につなげていくことをめざしています。

### ②健康相談会（南三陸町 平成24年3月26日）

文部科学省補助事業 大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業（宮城大学 南三陸町復興支援プロジェクト）と共催し、健康相談会を開催しました。

日本災害看護学会会員による相談機会を設けることにより、より専門的な支援にも繋げる機会としています。健康相談で得られた結果内容については、地元の保健師と連携し、情報の共有を図っています（写真参照）。

### ③看護職対象の語りの場の開催（気仙沼市）

看護職、医療関係者を対象として、震災後を振り返り、互いの心を分かち合う場を開催します。

「ケア提供者のためのセミナー 癒す心、癒されるころ」

日時：平成24年6月17日（日） 13時～17時

場所：気仙沼市立病院

定員：50名程度

13時30分～15時 講演「災害とスピリチュアルケア」大下大圓先生

その後 ワークショップと発表

### ④放射線による健康被害について看護職への知識提供

原子力事故を受けて発生している健康問題への看護支援や対応についてのセミナーを開催します。

「緊急被ばく医療の理解と看護—いのちと生活に視点をあてて—」

日時：平成24年7月14日（土）9時～17時

場所：福島県看護協会会館 みらい

定員：100名

⑤ 被災地域の健康情報集積と健康問題明確化への支援

被災地域の仮設住宅入居者の健康調査結果の分析および課題の抽出にむけた専門的支援を行っています。現在、データのとりまとめ作業を終了し、市町村と課題の共有と今後の対応について検討しています。

⑥ 災害急性期における看護支援への調査、分析

東日本大震災での急性期の看護支援について振り返り、次の災害への備えにつなげていく活動を実施しています。またDMA Tの活動についての分析を行い、今回の急性期活動の課題について検討しています。

今回の活動内容については、第14回日本災害看護学会年次大会の「東日本大震災プロジェクト企画」において発表します。

本プロジェクトの基盤は皆様のご寄付により成り立っており、次年度も継続して活動を実施して参ります。

今後ともこのプロジェクトへのご寄付ご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

活動風景 健康相談会の様子

